

百日咳について

6月になり、1年も約半分が経過しました。新採用の職員の方々は当院に慣れてきた頃でしょうか？ COVID-19は減少していますが院内でも陽性者が発生しています。引き続き注意しましょう。

さて、以前より百日咳の発生が取りざたされ、北海道のある地域では学級閉鎖になったというニュースがありました。そこで今回は百日咳について取り上げます。

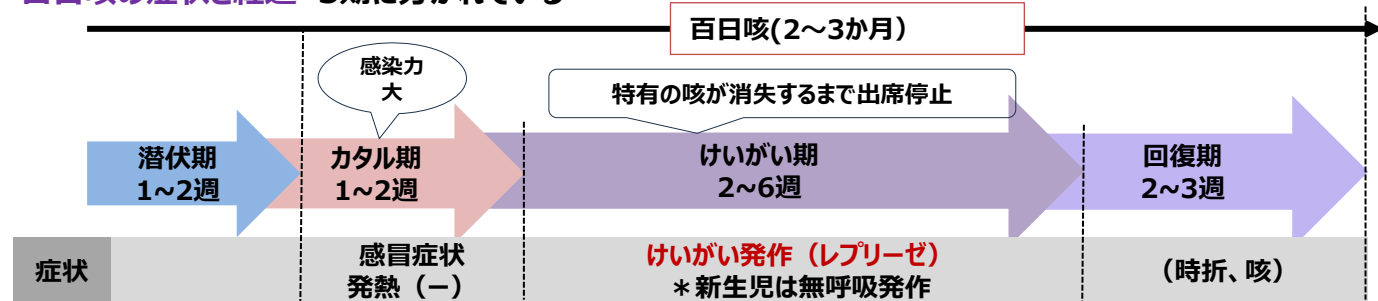
百日咳ってどんな病気？

百日咳菌による感染症で、特有のけいれん性の激しい**咳発作（けいがい発作）**が特徴的な気道感染症です



- ・発熱
- ・CRP（-）、赤沈正常
- ・リンパ球優位のWBC上昇

百日咳の症状と経過 3期に分かれている



診断・治療と感染対策

- ・確定診断は菌の検出。鼻咽頭から検体採取します。
- ・治療は抗菌薬の服用。
- ・飛沫感染でうつります。マスク着用。ワクチン接種も有効。
- ・感染症法5類に分類され、7日以内に保健所への届け出が必要です。
- ・特有な咳が消失するまでまたは、5日間の適正な抗菌薬の治療が終了するまで学校や勤務などの出席停止となります。

けいがい発作とは？

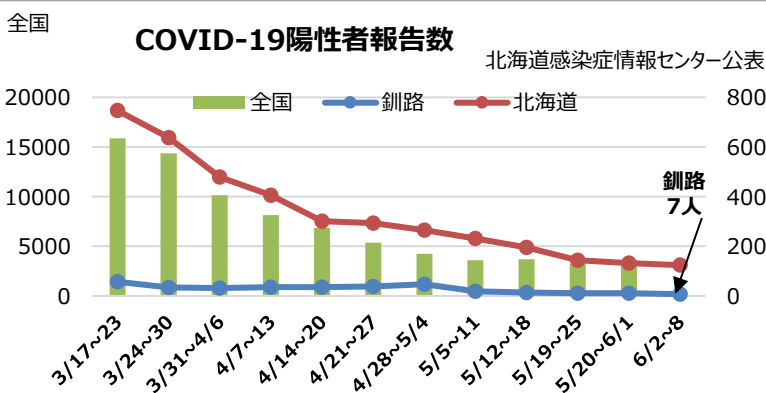
レプリーゼが特徴的。短い咳が連続的に起こった後（スタッカート）、息を吸うときに笛の音のようなヒューという音が出ます。この発作を繰り返すことを**レプリーゼ**と言います。

- ・夜間、突然始まる咳
- ・発熱なし

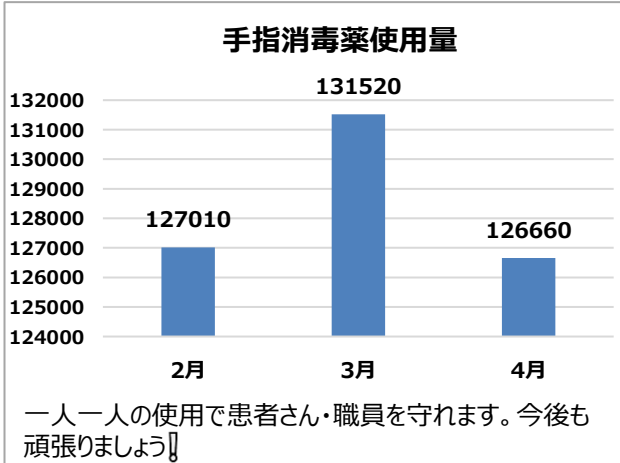


新生児や成人の百日咳

新生児や乳児でも、百日咳に罹患します。特有の咳の症状が出ないので無呼吸発作やチアノーゼが出ることがあります。成人の百日咳では咳が長期的に持続しますが、典型的な発作性の咳を示すことはなく、やがて回復に向かいます。全経過で約2~3カ月で回復します。咳が目立たないため、罹患に気づかず、新生児や乳児の感染源になってしまうことがあり、注意が必要です。



コロナは減少傾向ですが入院患者の発生が続きました。今後も気を引き締め感染対策を！ ＊全国データ表記なし



新型コロナウイルス感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。